

平成29年11月9日

第2回八尾翠翔高等学校協議会（報告）

協議委員（5名）の参加をいただき、本校教職員（4名）が同席し協議を行った。主な質疑等については、以下の通りである。

① 第1回授業アンケートの結果より

7月に実施した第1回目の授業アンケートの結果について教頭より説明した。非常勤講師を含む本校教員の授業満足度が、毎年数ポイントずつ向上していることから、授業改善が着実に進行していることが分かる。一方、各教科による平均値は、2年3年ではやや低下傾向が見受けられるものの、1年では昨年より大幅に向上しており、将来が期待できる。昨年度から、教科による授業内容の点検や工夫を積み重ねてきており、今後もさらに充実させていくことが重要である旨報告した。

【意見・提言】

- ・教員のスコアが伸びていることは評価できる。
- ・「予習、復習ができているか」という項目での数値が伸びていないことが気になる。
- ・宿題はやるが、授業本体の予習等に回る時間が取れないのではないかと。英語の宿題や教養テストの下調べに時間を取られたり、宿題を後回しにすると雪だるま式に増えていき、日々の授業の予習や復習が疎かになってしまうことも考えられる。各教科で、宿題の配分を図ることも必要ではないか。
- ・宿題等は、1日にどれだけの時間が必要かといった、具体的な時間提示を生徒にすることで、各自が勉強に割く時間を前もって予測できるのではないかと。
- ・やらされた感のある勉強はつらいものだ。むしろ勉強の仕方を身に付ける指導が重要だ。予習や復習を習慣化する取組みを進めてみてはどうか。

② 授業見学強化週間について

昨年度から実施している授業見学強化週間について首席より報告した。今年度はさらに頻度を上げて実施している。特に、他教科の授業見学を積極的に勧めるとともに、自分の授業をビデオで撮影し各自で検討する取組みを始めている。これにより、授業を客観的に分析する資料とする旨報告した。

【意見・提言】

- ・相互の授業見学は、期間を決めて実施しないと徹底しないものだ。年二度、こうした取組みの期間を設けることは意義がある。
- ・ビデオによる撮影は面白い。良い取組だ。
- ・教員の授業だけでなく、生徒の反応も撮影しておくとも良い反省材料になる。
- ・相互に検討しあうのは、授業だけではなく定期テストの問題作成にも反映できないか。問題の内容も向上し、生徒にとって利益となる。